

9月定例所長会見における千野所長挨拶内容

当発電所が今月で20周年を迎えることについて

当発電所では1号機が昭和60年9月に営業運転を開始してから、今月18日ちょうど20周年を迎えることとなりました。営業運転開始以降の累計の発電電力量は8月末で約7,067億kWhとなり、これは16年度に東京都全体が使用した電力量(約815億kWh)の約9年分にも匹敵します。この発電電力量を原油に換算すると約1億6,700万キロリットルに相当するとともに、すべてを石油火力によって発電した場合と比べて約4億9,800万トンにもおよぶCO₂の排出抑制に貢献したことになります。

昭和44年に地域の皆さまからご誘致いただいて以来、このように多くの電気を発電し続けることができ、この柏崎刈羽の地で歴史を刻んでこられたのも、地域の皆さまのご理解のおかげであり、改めて深く御礼申し上げたいと思います。

20周年だからといって、特に大きなイベントなどは考えておりませんが、今後とも、日常業務を基本に則って確実かつ的確に行うことによって、発電所の安全・安定運転を続けるとともに、地元の産業・企業の一員として地域の発展に貢献し信頼される発電所となってまいりたいと考えています。

地域の発展という意味では、先月18日には柏崎商工会議所の機械金属工業部会の方々に当発電所をご視察いただきました。これは、私どもがこれまで地元企業へ発注した資機材などを実際にご視察いただくことで、さらなる発注可能物品の掘り起こしをはかろうと企画したものであり、当日は設備改造の現場や過去に地元企業に発注したクラグ掻揚げ機などをご覧いただきました。このような地元企業向けの視察会は3回目のことですが、ご参加された方々からは「地元企業として手伝えるものがあれば、ぜひ協力したい」との意見もあり、お互いに有益な情報交換ができたと考えている次第です。

教育管理グループの設置について

当発電所をはじめ3つの原子力発電所では、これまで保安教育や現業技術の向上、能力開発など様々な教育訓練を実施しています。これらの教育はそれぞれの目的に応じて、各部門が個別に行っていましたが、10月からは教育訓練を一元的に評価・管理し、そのプロセスを継続的に改善する「教育管理グループ」を3つの原子力発電所それぞれに設置することといたしました。

当発電所の具体的な組織構成については、10月以降は労務人事グループ・品質保証グループ・発電グループが技術系社員に対して実施していた教育訓練に関する

業務を、新たに設置する「教育管理グループ」へと移管することになります。

「教育管理グループ」は、副所長級でもある「人材育成担当」がトップとなって、一元的に発電所大で行う教育訓練の総括やプロセス評価を実施するとともに、各部門の業務に沿った教育関連プログラムを構築するなど、効率的かつ実効的に教育訓練を展開することによって、技術系社員の教育訓練をさらに充実させることが可能になると考えています。

安全協定にも品質保証活動と原子炉の運転停止が新たに明記されましたが、このような教育訓練組織の充実を通して、発電所全体として運転・管理面の品質向上をさらに徹底させ、より一層の緊張感を持って業務に取り組んでまいりたいと考えています。

フランス電力公社との定期交流について

先月の会見でも申し上げたとおり、私が団長となって今月4日から11日まで、第5回の定期交流としてショーB(E D F社 Chooz-B)原子力発電所に伺いました。

今回の技術交流では「国内外運転情報の活用」「ヒューマンファクターに関する取り組み」「現場のハウスキーピング(整理・整頓)」などについて情報交換を行うとともに、実際に管理区域にも入って設備やシステムの視察を行いました。また、今回は刈羽村の品田村長も参加されたことで、「地域対応や地域の受け止め方」などについても情報交換することができました。

当発電所とショー発電所を比べて、特に違いを感じた点としては、

- ・ 原子力発電所は特殊で特別な施設というより、大きな工場としての概念であること
- ・ 作業安全は「自己責任」という基本的な考え方を強調していること
- ・ 警備はハード面、ソフト面から厳重なこと
- ・ 発電所と地域は Win- Win の関係をお互いに認識していること

などがありました。基本的な考え方や認識の相違はあるものの、今後もお互い良いところを学んで積極的に導入してまいりたいと考えていますが、ハウスキーピングについては、日程が決まり次第、ショー発電所の実務者が当発電所の実施状況を習得するために来所される予定です。

以上

添付) 柏崎刈羽原子力発電所 DATA・BOX

柏崎刈羽原子力発電所DATA・BOX(平成17年9月)

発電所運転状況

平成17年9月15日

| プラント名 | 現在の 運転(発電)状況 | 前回定期検査 | 過去1年間の運転状況 | | | | | | | | | | | | 補足説明 |
|---------------------------------|------------------------|---|-------------|----|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|--|
| | | | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | |
| 1号機 1,100MWe (S60.9.18運開) | 第14回定期検査中 H17.6.14~ | 第13回 H14.9.3 ~ H16.5.14 停止期間 H14.9.3 ~ H16.4.8 (584日) (原子炉起動H16.3.27) | 第14回定検による停止 | | | | | | | | | | | | 【1号機】 ・9月9日に制御棒駆動機構ハウジングスタブチューブの点検及び予防保全工事終了。 ・9月下旬より原子炉冷却材再循環系配管等の溶接部予防保全工事の施工前点検を開始予定。 【2号機】 ・9月3日から第11回定期検査開始。(お知らせ済) ・使用済燃料貯蔵プールのリラッキング工事(第一期)完了。 ・9月中旬からシュラウド点検開始予定。 【5号機】 ・9月2日~4日にかけて圧力抑制プールの点検を実施し、ゴミ(テープ片・ゴム片など)数点を回収した。 |
| 2号機 1,100MWe (H2.9.28運開) | 第11回定期検査中 H17.9.3~ | 第10回 H15.3.10 ~ H16.8.3 停止期間 H15.3.10 ~ H16.7.2 (481日) (原子炉起動H16.6.28) | 第11回定検による停止 | | | | | | | | | | | | |
| 3号機 1,100MWe (H5.8.11運開) | 運転中 | 第8回 H17.1.18 ~ H17.6.8 停止期間 H17.1.18 ~ H17.5.13 (116日) (原子炉起動H17.5.10) | 第8回定検による停止 | | | | | | | | | | | | |
| 4号機 1,100MWe (H6.8.11運開) | 運転中 | 第8回 H16.8.7 ~ H17.4.20 停止期間 H16.8.7 ~ H17.3.25 (231日) (原子炉起動H17.3.22) | 第8回定検による停止 | | | | | | | | | | | | |
| 5号機 1,100MWe (H2.4.10運開) | 第11回定期検査中 H17.7.4~ | 第10回 H15.3.1 ~ H16.6.4 停止期間 H15.3.1 ~ H16.4.30 (427日) (原子炉起動H16.4.27) | 第11回定検による停止 | | | | | | | | | | | | |
| 6号機 1,356MWe (H8.11.7運開) | 運転中 | 第6回 H16.7.10 ~ H16.11.10 停止期間 H16.7.10 ~ H16.10.15 (98日) (原子炉起動H16.10.12) | 第6回定検による停止 | | | | | | | | | | | | |
| 7号機 1,356MWe (H9.7.2運開) | 運転中 | 第6回 H17.3.1 ~ H17.8.2 停止期間 H17.3.1 ~ H17.6.23 (115日) (原子炉起動H17.6.20) | 第6回定検による停止 | | | | | | | | | | | | |

プラント名欄に記載してある出力は「定格電気出力」。

発電所設備利用率 (%) (8月末現在)

| | |
|---------|-------|
| 8月 | 74.0% |
| 17年度累計 | 75.8% |
| 運転開始後累計 | 77.7% |

発電所発電電力量 (MWh) (8月末現在)

| | |
|---------|-------------|
| 8月 | 4,519,050 |
| 17年度累計 | 22,853,994 |
| 運転開始後累計 | 706,716,486 |

ドラム缶発生量 (本) (H17年度第1四半期)

| | |
|-----------|--------|
| 当期発生本数 | 1,095 |
| 貯蔵庫累積貯蔵本数 | 15,229 |
| 貯蔵庫保管容量 | 30,000 |

使用済燃料貯蔵体数 (体) (H17年度第1四半期)

| | |
|----------------|--------|
| 使用済燃料貯蔵プール貯蔵体数 | 11,292 |
| 使用済燃料貯蔵プール管理容量 | 16,081 |
| 使用済燃料貯蔵プール貯蔵容量 | 21,645 |

構内従業員データ (9月1日現在)

| | | | |
|---------------|------|-------|-----|
| 従業員数 (人) | 東京電力 | 998 | |
| | 協力企業 | 5,195 | |
| | 合計 | 6,193 | |
| 協力企業 地域別比率 | 県内 | 柏崎市 | 49% |
| | | 刈羽村 | 5% |
| | | その他 | 15% |
| | | 小計 | 70% |
| | 県外 | 30% | |
| 協力企業社数(社) | 608 | | |

来客情報 (8月末現在)

| | | |
|----|-------|---------|
| | 8月(人) | 年度累計(人) |
| 地元 | 2,022 | 6,513 |
| 県内 | 2,942 | 13,241 |
| 県外 | 3,759 | 14,586 |
| 国外 | 33 | 197 |
| 合計 | 8,756 | 34,537 |

今後の主なスケジュール

| 予定日 | 内容 |
|--------------|---|
| 9月16日・17日 | 第112回名画鑑賞会(柏崎エネルギーホール) |
| 9月18日 | 柏崎・刈羽 親と子どものおもしろ実験とニュートリノの不思議(柏崎市市民プラザ) |
| 9月22日 | 初めてのエアロビクス教室(カムフィー) |
| 9月1日~9月30日 | サービスホール9月のミニイベント(サービスホール) |
| 10月13日 | 次回定例所長会見予定 |
| 10月20日 | プリザーブドフラワー教室(き・な・せ) |
| 10月21日・22日 | プリザーブドフラワー教室(柏崎エネルギーホール) |
| 10月1日~10月31日 | サービスホール10月のミニイベント(サービスホール) |

テレフォンサービス 0180-99-2277
 インターネットホームページアドレス <http://www.tepco.co.jp/kk-np/>

東京電力株式会社
柏崎刈羽原子力発電所
広報部
 0257-45-3131(代)